

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年をクリアしてきている。3か月前と比べても、来客数の対前年比が10%増加している。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・前年に比べ稼働率の伸びが良い状況が続いており、3か月前と比べても若干良い状況である。今月は台風の影響を受けたが、満遍無く稼働率の高い日が続き、3か月前と比べて上向き傾向である。
	変わらない	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・催事の入り練りにより、衣料品では対前年比113%、食料品では対前年比78%と差が生じているが、店全体では前年を辛うじてクリアでき、大きな変化はみられない。しかし、高級雑貨の動向の回復がみられ、それによる押し上げがある。
		スーパー（販売企画担当）	販売量の動き	・台風の影響により生鮮食料品が品薄で価格が高騰している。また、福島第一原子力発電所の事故による産地への風評被害などがあり、販売量が厳しい。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前とほぼ一緒である。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・上旬は来客数が少しは増加したが、購買力が前年と比べて極端に減少している。不況感もあるが、トレンドの変化や、趣味の時間、お金等の余裕の無さが原因かと予想している。あるいは、インターネットによる価格競争が生じている可能性がある。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年、20日頃には急激に入客が落ちるが、今年は25日までは好調に入客があった。しかし、26日より急に入客が止まっている。20代の観光客が前半、中盤では多かったが、後半では止まっている。地元客は相変わらず平日は外食に出てこない。おしなべて例年並みの入客である。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・6月ごろからの好調の波を保っている。本来なら9月は販売数が落ち込む時期だが、スマートフォンを中心に好調で前年を上回っている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・最近では東日本大震災前の状況に戻る傾向になり、良くなるかと見込んでいたが、今度は円高の影響が出てきている。
その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）		来客数の動き	・今月は前年に近い予約があったものの、台風が相次いで沖縄本島へ接近したため、1,300件程のキャンセルが発生し、前年を下回る貸出し実績となっている。	
住宅販売会社（総務・企画分野）	お客様の様子	・多くの住宅メーカーを見比べて、慎重に判断する客が多い。低価格住宅の受注が増えている感があるが、そのことにより景気が良くなっているとはまだいえない。		
やや悪く なっている	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上高、来客数、販売点数が前年を下回っている。特に販売点数の前年比は、3か月前に比べ9%ポイント下回り、落ち込みが顕著である。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・最近、観光客の減少が目立っている。台風の影響もあるが、前年と比べて観光立地店は不振である。先島諸島への観光客も前年に比べ5～10%減少で、売上に影響している。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・書店業界では台風の影響で商品の入荷が一週間無かった。ここで特に痛手なのが週刊誌であり、入荷してもすぐに返品することになった。このため、売上が全く上がらなかった。返品するコストもかなり増えた。	
悪く なっている	-	-	-	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設関連で、公共工事及び民間工事は前年比増、住宅及び貸家着工は前年比減となっている。
建設業（経営者）		受注価格や販売価格の動き	・受注量は横ばいである。ただし、受注単価が下落している。	

	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の影響で低迷していた食品雑貨店、スーパーマーケット、量販店の販売促進活動が活発になっていることもあり、輸送量は増えている感覚がある。ただその他の建築材料、家具、家電などについては変わらない。
	輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・久米島は依然低調、八重山は与那国が好調だが全体的には通常レベルで、宮古は依然好調である。
	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・仕事は増えてきているが、契約単価は以前と変わっていない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている		
雇用 関連	良くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き ・企業の後期に向けての採用活動が活発になり、求人数が大幅に増えている。特にWebデザイン、営業、販売、事務である。経験者や専門的に勉強している人材を希望する企業も多いが、新卒枠を広げる企業も少なくはなく、企業の育てる意欲が高まっていると感じる。
	やや良くなっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き ・今月の受注案件の合計件数は、過去の実績からみて、ある程度のレベルを維持している。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き ・沖縄県内での求人企業数が増えており、求人にかかる費用が増加している。
	変わらない		
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	-